



令和5年7月17日

第1期そばリストそば学検定学位授与式開催される  
～初めてのそば学士授与に当たり～

NPO 法人そばネットジャパン  
代表理事 阿部 成 男

令和5年7月17日海の日、熱中症警戒アラートが発表されている埼玉県伊奈町の埼玉県民活動総合センターで第1期そばリストそば学検定の最後を飾る学位授与式が挙行されました。

オリジナルのテキストで検定研修講義、筆記試験を経て全7科目中 3科目合格で「学士」、5科目合格で「修士」、7科目合格すると「博士」の学位が授与される全国で例のない検定制度です。

令和2年4月から準備を進め検定員でもあるテキスト執筆者7人の協力を得て、令和4年9月に4科目収録のテキストを発刊し受検者募集、11月に検定研修講義を北海道十勝会場と埼玉会場で開催、令和5年3月1日に4科目の筆記試験開始(受験者へ問題を送付し、3月末日までに解答を提出する。)、6月に成績発表、3科目以上合格者に学位授与を内示し、今日の学位授与式となりました。

まずは、テキストを執筆し検定委員として、研修講義、問題作成、採点までご協力いただいたほしひかる様、岩崎信也様、井上直人様、永山寛康様、足立和隆様、小野常夫様、打越竜也様に深く感謝を申し上げます。

さらに、全く新しくかつ未完成の検定制度にもかかわらず200人を超える受検申し込者に感謝を申し上げ、この度3科目以上合格されて「そば学士」を取得された皆様に心からお祝いを申し上げます。

第1期そばリストそば学検定は、受験申込者数(テキスト購入者数)208人、筆記試験受験に義務付けられている検定研修講義受講者は北海道会場48人、埼玉会場125人(内欠席によるビデオ講義受講者15人)計173人、筆記試験解答者数102人(科目別は、科目1が99人、科目2が99人、科目3が84人、科目4が88人)で3科目以上合格による「そば学士」は95人となりました。

そば学士は95人ですが、北海道をはじめ会場からは遠隔の方も多く、本日の学位授与式には44人のそば学士と見学、スタッフ併せて55人の出席でした。

式は、代表理事のあいさつに続き、副代表理事で検定採点委員の小山周三氏(そば学テキスト監修者で西武文理大学名誉教授、元さやま市民大学学長)の採点の講評と今後のそば学検定に寄せての講演をいただきました。

その後、95人を代表して出席者の最年長である坂牧雄夫氏(GR そば打ち倶楽部)に学位が授与されました。(因みに、筆記試験受験者の年齢構成は45歳から84歳で平均年齢は69.4歳でした。)

次に、科目別の成績上位者44人が発表され、式典に出席している17人に優秀賞の賞状が授与されました

式典終了後、別室で昼食交流会が開催され、優秀賞受賞者の試験体験談などでにぎやかな交流会でお開きとなりました。

次ページに写真を交えて学位授与式と昼食交流会の様様を紹介します。

※、第1期そばリストそば学検定の主旨、経緯、そば学士名簿などの詳細は、そばネットジャパン HP の「そばリストそば学検定」掲載してあります。

「そばリスト」とは、そばをこよなく愛し、そば打ちやそばの知識を学ぶ人を、「そばに関するスペシャリスト」の愛称として「そばリスト」を商標登録しています。



司会進行は、理事・そば学検定部長としてこの3年間そば学検定の円滑な実施のために昼夜を問わず活躍された新寄照幸氏です。



代表理事あいさつ  
ようやくここまで来たことに深く感慨し、多くの皆さんに感謝の意を表しました。



延べ370人の解答を精査した感想を述べ、そばリストの意義を強調した上で、交流、地域貢献、そばリスト育成の3つの活動が融合する「SOBA コミュニティ(仲間世界)」を創り上げていくことを提唱しました。



出席者の長老の坂牧雄夫氏(GR そば打ち倶楽部)が全そば学士を代表して学位記を受けました。坂牧氏は「高齢になってテキストの小さな字を読むのも、記憶するのも大変ですが、何事もチャレンジすることで生き生きと生活できます。」と感謝の言葉でした。



外は38度の猛暑ですが会場はエアコンが効いていて快適な環境です。



科目別優秀賞を受けた受賞者17人、(44人中の出席者)それぞれ解答に真剣に取り組んだ想いが表情に出ているようです。



昼食交流会開会では、小川伊七副代表理事が、そば学士取得のお祝いと、引き続きそば学修士、そば学博士をめざしてと励ましのエールを送りました。



乾杯は、北海道本部長の折笠政弘副代表理事です。気温18度の帯広から38度の埼玉へきて“これほどか”と驚いたこと、北海道の会員は元気がよく、1日かけて交流事業に参加する会員も多く、会員数は着実に増加しているとアピールしました。



交流会はノンアルコールです。5テーブルに分かれて、それぞれ検定試験やそば打ち技能の話などで盛り上がっていました。多くの参加者は、やはり直接対話できる交流会はとても楽しく、今後も続けて欲しいとのことでした。




優秀賞受賞者の全員が喜びのスピーチをしました。画像は城 幸夫氏(いるま蕎麦打ち倶楽部)で、なんと3科目解答して3科目とも優秀賞受賞です。残り1科目(そば料理学)も解答をする予定だったのが家族の急病で提出が間に合わなかったとのことです。(因みに、急病のご家族は快復しているとのことです。)



優秀賞受賞の島村良三氏です。  
 解答作成時に病氣療養を余儀なくされて、途切れ途切れになりながらもなんとか3科目提出することができたが、賞をいただくとは予想してなく大変うれしいとのことでした。  
 皆それぞれ大変な思いをしながらの検定だったのですね。

優秀賞の受賞の喜びの声だけではと、受賞できなかったそば学士の声を伺いました。  
 樋口正一氏(圏央手打そばクラブ)はソバ栽培のプロ(?)で長年播種の時期やいかに倒伏を防ぐかなどの苦労話をされましたが、時間切れで試験結果についてのお話は伺えませんでした。



# 学位記

氏名

生年月日

生


そばネットジャパンそばリストそば検定において所定の課程を修了したことを認めそば学士の学位を授与する

令和五年七月十七日

特定非営利活動法人そばネットジャパン

代表理事

## 阿部成男



学第三一 号

そば学士の学位記  
 この学位記の用紙は和紙風の賞状用紙を使用したものです。  
 そのため、ふわりとした手触りになっていて、プリンターで印刷すると特にロゴのカラーが鮮明に印刷できないようですのでご了承ください。